

私は、民主連合を代表し陳情第3号核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情に賛成の立場で討論いたします。

本年10月24日、核兵器を全面禁止する核兵器禁止条約を批准した国は、発効に必要な50か国に達し、来年1月22日に条約が発効する見込みとなりました。核兵器のない世界は唯一の戦争被爆国である日本国民の念願でありました。我が野田市におきましても核兵器の悲惨さと平和の尊さを後世に継承し、かかる悲劇を繰り返すことのないよう恒久平和を願い、平和の記念碑が昭和61年10月に市役所敷地内に建てられるとともに、平和尊重都市宣言を発する都市ともなっています。今回の条約発効の動きは、広島、長崎の被爆者や御遺族の皆様、また、世界中の多くの皆様の核廃絶運動の成果であり、その広がりによる国際的連帯の成果となっています。核兵器禁止条約に関しては、核保有国が不参加であることなど実効性が指摘されていますが、政府は核兵器廃絶の動きが新たな段階に入ったことを理解し、日本が1日も早く批准できるよう積極的に取り組んでいくべきと考えます。また、核保有国が核軍縮に向けての歩み寄りを強く望むものであります。私は現在、政党色は無所属の身でおりますが、平和都市宣言をしている野田市の一議員として日本の恒久平和を願い、本陳情に賛成討論いたします。